

## (第2回)習志野 WS 藤崎図書館グループまとめ

できそうなこと

→基本は、『図書館+〇〇』

### 図書館機能

- ・本を読めるスペースがある
- (本自体はあまり置かず、インターネット予約・受け取りというやり方もありでは)
- ・貸出返却カウンター機能
- ・市との連携はできないのか(民間が経営するが、市の図書館との関係を作れないか)
- ・「本がある場所としての図書館」というだけでなく、「コミュニティスペースとしての図書館」というイメージ。
- ・電子書籍が読める

### 多目的

- ・時間帯・年齢・曜日で利用区分を作る
- ・市民が集まれる場所
- ・多目的ホール
- ・家から離れて自分の時間をもてる場所
- ・サークル活動で使える
- ・スペースの一角で地元のもの(野菜など)を買える
- ・オープンで多様な人が集まれる場所になると良い
- ・市民プラザ大久保みたいな学習スペースがほしい
- ・2, 3個のスペースに区切って多目的利用
- ・インターネット利用ができる

### 子供(と、その親)の為の活用

- ・子供のための本を置いておく
- ・子育て支援のための施設
- ・小さい子供向けの講座
- ・幼児のリズム遊びとかもあり
- ・小さい子供たちは母親が連れてくる、そのため母親にとって魅力が必要なのではないか
- ・小学生が放課後利用できる

### 大学生の為の活用

- ・大学生の授業プログラムと連携
- ・NPOのインターンやその他・学生が訪れたい場にする
- ・大学生の感性を取り入れたい

#### できなさそうなこと

- ・身体を激しく動かすようなこと(ex.エクササイズ)
- ・産直マルシェ(買い物に便利な立地ではないので、これを中心に考えるのは難しい)

#### 地域の課題だと思うこと、不満

- ・大学生と市民の交流が少ない(大学生→地域の輪に入りづらい、関わりづらい)
- ・消防団の団員足りない
- ・サークル活動する場が少ない
- ・既得権益をなくしたい
- ・積極的に外に出ていける親とそうでない人がいる
- ・市民同士のつながり希薄になっている
- ・(藤崎図書館周辺は)駐車・駐輪スペースが少ない
- ・周辺のオープンなスペースにおいて、子供を連れ行きたいと思えるのは公園だけ
- ・子供の遊び場が少ない